



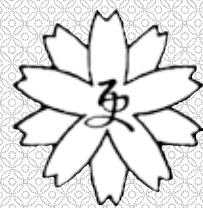
夜の風景

平成28年12月1日、川越氷川祭の山車行事がユネスコ無形文化遺産に登録される。
毎年10月の祭日には町内から山車が曳き出され祭りがはじまる。賑やかなお囃子は江戸の風情を想わせその熱気に喚声があがる。川越まつりの一番の見所。これぞ小江戸川越とよばれる所以か。
(田邊)



宰領の拍子木で山車が動き出す

江戸の天下祭りの名残を今に。
川越まつりは370年の歴史を誇る秋の祭礼。
絢爛豪華な山車が蔵のまちに揃う。



かわごえ 更女たより

川越市更生保護女性会

第20号



更生保護女性会活動に寄せて

川越市福祉部長

関根 水絵

更生保護女性会の皆様方におかれましては、日頃から、女性ならではの細やかな優しさと深い愛情をもって、犯罪や非行の未然防止活動を行うと共に、青少年の健全育成に取り組まれておられますことに、心から感謝申し上げます。

さて、昨今、青少年が関わる凶悪事件が後を絶ちません。

生活の基盤である家庭の中においても、暴力や虐待などの多くの問題を抱えている現状がございます。人間関係の希薄化が進む現代社会では、今後もこのような痛ましい事件が増えていくのではないかと、懸念されて

いるところでございます。

このような中、貴会が取り組まれておられます川越市児童センター「こどもの城」への支援をはじめ、川越市内小・中学校への「愛の図書費」贈呈など、青少年の健全育成のために、大変意義深い取り組みを行われておられますことに、深く敬意を表する次第でございます。

また、これらの活動を半世紀以上の長きに渡り、地道かつ熱心に続けてこられた貴会の皆様方には、本当に頭が下がる思いでございます。

今後も地域に根ざした幅広い活動を展開していくことを、御期待させていただくと共に、これまで以上に、心豊かで愛情溢れ、明るく住み良い街として成長できますよう、引き続き皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後益々の御発展と会員皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

50周年を終えて

新たな一歩へ

会長 原田 菊子

昨年度の50周年事業は、無事成功裡に終わりました。これもひとえにご来賓、市当局、会員の皆様のご支援・ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。

さて、本年度は新しい視点に立つて更女会を進めていこうと考えております。テーマを「行動する更女会」とし、理事会において以前から3委員会の組織（研修・交流・広報）を作って試行錯誤を重ねてやってきました。本年度は理事の意欲や自主性を重んじこの方法をさらに深めていきたいと思えます。組織が明確になり誰が何をするかが委員会の中心でしっかり共有されることによって活性化した効果的な活動が期待できると確信しています。



原田会長ごあいさつ

将来的な展望ですが、いま日本では6人に1人の子どもが貧困にあえいでいるといわれています。次代を担う子どもたちのために『更女会として何かできることはないだろうか』そんなことを考えております。

ふれあい福祉まつりに参加して

高階地区 関本 優子

平成29年5月21日(日)、第27回ふれあい福祉まつりが、伊佐沼公園で開催されました。私は駐車場入口で会場案内図の配布のお手伝いをさせていただきました。初参加で緊張しましたが、入場者にお声を掛けながら渡しました。

また、イベントの中を見学させていただきましたが、店頭販売、演芸等、何処も活気があり、ボランティア精神に満ちあふれていました。中でも一番印象深かったのが池での金魚すくいでした。参加者は、楽しそうに大声をあげながら金魚をすくい上げようと一生懸命でした。これを機会に今後、少しでもお手伝い出来ればと思えました。私にとって大変いい経験をさせていただきました。

社会を明るくする運動に参加して

第3地区 横山恵美子



蓮馨寺境内での活動

平成29年7月29日(土)、社会を明るくする運動の活動として、「うちわ」配りに参加致しました。中央通りの連雀町付近は、例年通り百万灯まつりの初日で沢山の人が予想されました。

午後3時半頃、どしゃ降りの雨になり、このままでは中止かという状況になりましたが小降りになった頃を見計らって配布する事になりました。家族連れ、浴衣姿の友だち連れ、カメラを持った人々など、傘をさして歩いているので、受け取ってもらえるかを危惧していましたが、可愛いペンギンの絵と小さ

めの形が好まれたようで、思いのほか早く配り終えることが出来ました。このうちわには、「もどらない、もどさない」「立ち直りを決意した人を、決してあやまちに戻さない」と書かれています。この文章に少しでも関心を持ち、考えてくれる人々がきつと増えていくてくれることを願ってやみません。

〔役員紹介〕

- | | |
|------|-------|
| ○会長 | 原田 菊子 |
| ○副会長 | 新井 とよ |
| ○副会長 | 田邊 純子 |
| ○会計 | 西村 雅子 |
| ○会計 | 新井 ハツ |
| ○書記 | 諸星すみ江 |
| ○書記 | 小川 道子 |
| ○監事 | 野崎 昭子 |
| ○監事 | 松平 静江 |

〔理事〕

- | | |
|-------|-------|
| 松本富三江 | 阿曾 節子 |
| 井上 順子 | 矢部美知子 |
| 平本 和子 | 福羅喜代子 |
| 大久保信子 | 水村 清美 |
| 藤田富貴枝 | 榎本千英子 |
| 関根真奈美 | 今給黎克子 |
| 田中 幸子 | 塩野 慎子 |

川越少年刑務所体育祭に参加して

第8地区 大久保信子

平成29年6月8日(木)、私は朝から少し緊張していました。それは初めて川越少年刑務所の体育祭に、参加させて頂く日だからです。

長い通路の先に、こんなに広い校庭があったのかという驚きと共に、そこには私の予想をはるかに超えた人数の少年たちが整列していました。

競技が始まりました。どの競技も真剣で、見ている私までもが声を出し応援していました。特に各種リレーは、手に汗握る熱戦でとても感動しました。

風が強く寒い日でしたが、少年たちの大きなかけ声と、最後まで走り抜く姿が印象的な一日でした。

西ブロック研修会に参加して

第8地区 新井 ハツ

平成29年10月4日(水)、狭山市市民交流センターでの研修は、10地区約90名の参加でした。「更生保護の心を広め、支え合い、地域とつながり、地域につなげる」を掲げて始まりました。

講義は「更生保護女性会に期待すること」。講師は、さいたま保護観察所の吉田所長。その後ビデオの上映「チェンジングハート」。

グループでの討議は

(1) 地域各種団体との連携と深め方

(2) 地域の抱えている問題について

(3) 「愛の募金」について

を話し合い、まとめの発表を合いました。人間関係が希薄になりつつある今日、地域を温かく見守り関わって行く大切さを思いました。



さいたま保護観察所 吉田所長の講話

施設訪問 喜連川少年院へ

高階地区 阿曾 節子



喜連川少年院前にて

平成29年10月17日(火)朝は雨！栃木県さくら市にある喜連川少年院の施設訪問。参加者は40名でした。玉井清一次長からの説明で、昭和42年中等少年院としての開設から、これまでの様々な「あゆみ」とその歴史を知ることが出来ました。中でも県立高等学校の通信制課程のスクーリング教場を設置し、高等学校教育を開始したこと。12才から20才未満の少年たちへ、特性に応じた矯正教育は、改善

更生へ、社会復帰へを目指している施設ということでした。施設内の見学で、少年たちの、まだあどけない顔が印象に残りました。この少年たちが無事に、社会復帰ができる様にと願いながら、訪問を終えました。

4地区交流会に参加して

大東地区 矢部美知子

平成29年10月19日(木)、小雨が降るなか、北坂戸の駅に下り立つと、4地区交流会の行われる「オルモ」は、すぐ目の前になりました。会場の入口は、まるで野に咲いていたかのような花が、そのままの風情で、私たちを迎え入れてくれ、坂戸更女会の皆様の温かな気持が伝わって来る思いがしました。4市の会長さんの活動報告があり、その後に見せていただいたビデオで、初めて大川平三郎さんの存在を知り得て、その志の高さに感動しました。

午後からはグループに分かれ、他地区の方とも和やかな雰囲気です話すことが出来、楽しい時間となりました。最後に歌った「愛をみんなで」に踊りの振付があることも知りました。

中堅会員研修会に学ぶ

福原地区 田邊 純子

平成29年11月29日(水)晴れ。さいたま共済会館において、中堅会員研究協議会が開催され、川越は11名で参加。県連盟本橋会長に続いて、吉田さいたま保護観察所長の挨拶。県内初の女性所長。更女会にとっては、まさにバック・ボーン的存在！中央、関東地方研修を、各々の代表の報告から学ぶ。

○地域を編むをテーマに、人や団体との連携で明るい社会づくりへの、ネットワークを。

○集う場所、話し方や役割ルールや雰囲気等を総合的に考えるファシリテーションを。

講話「子どもの貧困と居場所」NPO代表青砥氏の孤独と絶望が生む負の連鎖で、身体と心のバランスを失う若者の現状を知り、地域支援の必要性を実感する。



受賞おめでとう

『第六十四回埼玉県更生保護大会』

平成二十九年

十一月二十二日(水)

埼玉会館大ホールにて

○さいたま保護観察所

所長感謝状 福羅喜代子

山口 勝子

榎本千英子

横山恵美子

○埼玉県

更生保護女性連盟

会長表彰

平本 和子

矢内 道子

磯部 郁子

三重久美子

松本 道子

渡辺 成子



小学校へ愛の図書費贈呈

今年度は、9月12日に南古谷小、古谷小、山田小の3校へ。9月15日に福原小、大東西小の2校へと計5校への贈呈です。どちらの学校も、校長先生に大変喜んでいただきました。子どもたちの為にどんな本が揃うのか、これから私たちも楽しみです。今回の5校の中には、まだ更女会員のいない地区もありますが、この度の「愛の図書費」とおして更女会活動の良いPRが出来たのではないかと思います。今後も多くの学校へ届けられる活動をして行きたいです。(榎本)



校長室にて贈呈

編集後記

勇気と感動で日本中に笑顔を届けてくれた平昌五輪・パラリンピック。特に女性の活躍はめざましく、個人技もさることながらチームワークの素晴らしさに胸を打たれました。2020年東京五輪の、さらなる飛躍に期待しています。日々の小さな努力の積み重ねが大きな結果につながるのだと、選手たちがその身を持って証明してくれました。更女会の活動も今以上に大きな実を結ぶと信じています。

役員改選後、新体制となり、初めてお届けいたします。発行にあたり、寄稿や写真をご提供下さった皆様に心からお礼申し上げます。

(小川)
(広報委員 榎本・水村・松本・小川)

愛の募金

募金総額	745,200円
県更女連盟	186,000円
地区活動費	559,200円

上記の通りご報告致します。

会計 西村 雅子
新井 ハツ